

## ほ ゆ う

会報 87号

平成 13 年(2001) 9 月例会時発行

〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222

北総歩こう会事務局

Tel 090-3345-8750

8 月例会 「運河&amp;星空 W」を担当して

例会リーダー 後藤 章

8 月例会はミニナイトウォークと決まり、下見をするもトイレ不足はどうすることも出来ず、悩みながら例会当日を迎えました。

今まで長い晴天が続いていたのに、当日の天気予報では「夕方には雨模様」との事で、「星空観察は出来ないかも?」と心配しながら運河駅に着く。集合場所は東武野田線運河駅より 5 分の利根運河水辺公園に集合しました。

参加者が着く頃には空には雲が広がり、いつ降るか心配しながら出発式を始める。会長挨拶、事務連絡、危険な場所・完歩証・JVJ 等渡す場所やコース説明、体操をして出発。階段を降りて浮き橋を渡る頃にはポツリ、ポツリと雨が落ちてくる中を歩き始める。東武のガード下を通る頃には雨が強くなり心配したが、雨はすぐに上がりホットする。運河の堤防の上で涼しいそよ風を受けながら、理科大自然公園に向けて進む。自然公園内でひぐらしの声を聞きながら、列詰めのために小休止。(コース地図の中に案内図を入れておきました。自由に入れますので、後日ゆっくり散策してみてもはいかがでしょうか)

自然公園をししばらく歩き、理科大を後にみずき公園に進む。トントン橋を渡りトイレ休憩場所のみずき公園に到着する。予定では、ここで星空観察の企画でしたが、残念な結果となりました。

運河に上がる道路が S 字カーブの為に歩行誘導が大変で、ご苦労様でした。橋を渡り終えて完歩証・IVV を渡し運河水辺公園へ。解散式は、また降り出した雨の為に、流れ解散と致し



ました。出発、ゴール共に雨となり参加者の皆様には大変ご苦労様でした。

参加された皆様と役員の方々の協力で無事に終わる事が出来ました。本日は、有難う御座いました。



1. やあ!お早よう 明るい挨拶 さわやかに

## ふぁみりーウオーク

※この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。

「ふぁみりーウオーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。

集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

☆10月20日(土) 小江戸・川越巡り 年一回お弁当食べての一日コース 約10キロ  
集合・出発：この会にかぎり午前10時 JR川越線・東武東上線川越駅(同じ駅です)  
解散：集合地と同じ駅 (担当・菊池 靖)

☆11月17日(土) 川間の紅葉 江戸川堤へ 約8km (担当・川村 正弘)  
集合・出発：東武野田線七光台駅 解散：東武野田線川間駅

☆12月15日(土) 年忘れ、利根町の史跡を訪ねて 約9km (担当・小林 直之)  
集合・出発：JR成田線布佐駅 解散：JR成田線布佐駅

★開催日には、下車駅の改札口付近で担当役員がご案内を致します。御安心下さい

※問い合わせ先 0471-84-4353 (菊池 靖) 19時～20時のみ

## 例会の案内板

### ☆10月例会 七廻道手賀沼 W

地元の努力で随分きれいになって来た手賀沼。新しく出来た道の駅“しょうなん”を巡るウオークを秋の一日楽しみませんか。

\*開催日：平成13年10月8日(月)祝日

\*集合場所：JR常磐線我孫子駅よりより10分手賀沼公園(改札口より案内あり)

\*集合時間：午前9時00分(参加費として全員500円必要です)

\*解散：出発地と同じ 10キロ…13時30分 20キロ…15時00分  
(例会リーダー 森 禎之)

### ☆11月例会 相馬霊場巡り

弘法大師の開いた四国八十八ヶ所のミニ版は各地に点在するが、ここ相馬氏の故郷である取手・我孫子周辺にも新四国相馬霊場というのが有る。当歩こう会では既に2巡りしており今回は3巡り目の第一日である。葵の御紋が許された徳川家康の孫娘千姫ゆかりの弘経寺などを巡る。

\*開催日：平成13年11月18日(日) 14km

\*集合場所：JR常磐線取手駅西口(改札口より案内あり)

\*集合時間：午前8時30分

\*解散：出発地と同じ 15時頃 (例会リーダー 和田 武年)

※例会行事問合せ先 047-367-7556 森 禎之 19時～20時のみ

## 行事日程変更のお知らせ

運営委員長 森 禎之

11月18日に予定しておりました七廻道シリーズの手賀沼周遊ウォークは柏市のふれあいうォークと重なったために10月8日(月・祝日)に変更となりました。

この行事は千葉県ウォーキング協会主催の七廻道シリーズの水辺廻道となるために、特別例会として行い、会員の皆様からも参加費として500円を頂戴いたすこととなりますのでご協力の程お願い致します。

歩行形態も団体歩行となり、10Kmと20Kmの2コースを予定しております。また、10月の相馬霊場は11月18日(日)に変更となりました。大変ご迷惑をおかけ致しますが、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

## あるけるしあわせ

野田市在住役員 川村 正弘

◇はじめに◇ 和田さんに「ほゆう」の原稿を依頼されたのは、東京スリーデーマーチに向かう車中であつた。その後気にも止めずにいたら、6月に入って「ほゆう」の同封された1通の手紙が届いた。和田さんからである。その中に原稿依頼の文は無かったが、その熱意に頭が下がりペンを執ることにした。幸いな事に、私のOB会は年に一度だが会報を発行している。その文を転記して責めを果たしたい。



## ◇歩きに徹した7年間の軌跡◇

### ①平成7年 長距離に挑む

昨年6月から歩けの会に入る。すぐに河口湖周辺のラベンダーウォークに参加し、2日間で80キロ歩いた。激しい雷雨の中、夜を徹して歩いた山手線ウォークは40キロ、今年に入ってから江戸川25マイル(40キロ)も苦にならなかった。これも早朝散歩のお陰と信じつつ、明日からも歩きつづける。

### ②平成8年 日々を歩く

日々の散歩は利根川沿いを中心に16キロ程である。春は“からしな”を摘み、夏は土手に座っての缶ビール、北風に逆らっての冬の歩きなど夫々に趣がある。また、秋の初めには野田北高校の40キロ徒歩競争に参加、何よりも青春真っ只中の若者とおしゃべりしながらの歩きは実に楽しかった。

### ③平成9年 古稀を迎えて

5月の連休に都下武蔵野市を中心に、ウォーキング大会が開かれたので古稀の記念にと思い参加する。3日間で130キロ、特に初日は市制50周年記念で50キロコースを歩き、不安の出発だったが、完歩出来て嬉しかった。足だけは丈夫で各地の歩く大会に参加している道楽者である。

### ④平成10年 年寄りの冷や水

今年も、野田北高校40キロ徒歩競争に3回目の参加、6時間を切ってゴールする。女子高校生に「おじさん頑張っ……」等と励まされ、おだてられて休まず・食わず・水だけ飲んで完歩した。無理な事は止めようと思いつつながら、今年もまた足に任せて各地を巡る日々を送りたい。

### ⑤平成11年 日嗣の御子にお会いして

1月28日、甲州街道を歩いていた時の事。前方に夥しいカメラの放列、歩を進めてみると3メートル程の先になんと皇太子ご夫妻がお立ちになり、笑顔で我々に手を振っておられるではないか。恐懼感激の極みであつた。……私の余生は歩くことに尽きる。……

## ⑥平成12年 杖を頼りに

5月初旬の3日間、武蔵野市周辺で開かれたウォーキング大会に杖を頼りに参加。僅か10キロなのに3時間40分もかかってしまった。右膝変形性膝関節症・左足首アキレス腱炎症、其の為に速く歩けない。日々の散歩もゆっくりと5キロがやっとだ。思う存分に歩けた昔が懐かしい。

## ⑦平成13年 猿島観音巡り

今年は猿島観音札所12年目毎の巳年ご開帳である事を知る。計画はしたが猿島町・三和町は地図が手に入らず、冊子の絵地図だけ。バスの便も無く、自分の足を頼るのみ。でも気楽な一人旅。ご朱印帳を手に観音巡礼に出る。度々、道に迷って途方に暮れたが、観音様のご加護で33の札所を7日間で巡り、結願出来た。

## ◇終わりに◇

私が歩きを知ってから8年の歳月を数える。初めから5年ほどは歩く事に無上の喜びを覚え、他の事は考えずに「歩行三昧」で土日は殆ど不在、家を顧みることなどしなかった。ところが今では五体不満足程ではないが、足は膝関節症で人並みに歩く事が出来ない。左耳は聞こえず、右耳の補聴器で何とか聞き取る事が出来る身だ。また、20年来の糖尿病も悪化して、インスリンの注射は欠かせず、昨年末には少し眼底に出血が見られると医師に宣告され、現在は飯より好きな酒も断っている。しかし、今でも牛の歩みではあるが、日に10キロは歩ける。大好きな歩きは私の「イノチ」、止める事は出来ない。天から与えられた寿命はあと数年かもしれないが、これからも、歩友の皆様に助けられ、励まされながら足の動く限り歩き続けたいと思っている昨今である。

## つれづれなるままに④ 利根町在住 林 義治

過去5年間のウォークダイアリーを横に並べて7～8月分を眺めて見ると、如何に夏期間を歩かなくなったかが分かる。2ヵ月分合計で、96年741<sup>キロ</sup>・翌年476<sup>キロ</sup>と半減し、70歳になった昨年は遂に157<sup>キロ</sup>。今年には更にゴロ寝が増えて、残り200kmと目標の地球一周四万kmを目前にして足踏み状態。体力減退もさる事ながら『山手線ナイト・東京ベイサイドナイトW』等の長距離イベント消滅も一因か?、等と他人転化のダラシナサ。

初心に戻り早く四万<sup>キロ</sup>の2巡目に入りたい。

## &lt;編集後記&gt;

朝夕の日が短くなり、うおーくに最適の秋が近づいた。

先日、泉 狂歩氏より『地球一周四万キロ、おめでとう御座います。「ほゆう川柳コーナー」有難う御座いました。小生の句は川柳ともつかず俳句とも言えぬので、自らは「狂い歩き 十七文字で綴る旅」をモットーに「ウォー句」と称しております。まことに申し訳ございませんが、そういう訳でコーナーを「ほゆうウォー句コーナー」として戴けないでしょうか。勝手に言って申し訳ありません』との丁重なるお手紙を戴いた。「なるほど、これは面白い。ほゆう仲間もおおいにウォー句を作って投稿して貰いたい」と思い、変更することにした。川村先生より「あるけ」に対するひたむきな気持ちを綴って戴いた。読んで感動した。

一步遊人

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石6-187-43

Fax 0471-54-0170 & Eメール moon@mail.wics.ne.jp 常時  
Tel 090-9298-3794 18:00~21:00 受付

ほゆうウォー句コーナー 泉 狂歩  
ねぎらいに 雪の金北 姿見せ  
トンネルを 抜けて一息  
立ちシヨンベン  
急坂を 大威張りにて 下るなり  
湯上がりや ザック枕の 高いびき